



TOHOKU
UNIVERSITY

平成 28 年 12 月 7 日

報道機関 各位

東北大学大学院薬学研究科

＜記者説明会開催のお知らせ＞
統合失調症における標的分子の新しい生理機能を発見
－細胞内ドパミン D2 受容体は新たな創薬標的になる－

【概要】

東北大学大学院薬学研究科の福永浩司教授、岐阜薬科大学の塩田倫史准教授らの研究グループは統合失調症治療の標的分子として知られるドパミン D2 受容体の新しい生理機能を発見しました。

ドパミンは感情・意欲・運動・学習などに関わる重要な脳の伝達物質です。ドパミンが結合するドパミン受容体の中で、ドパミン D2 受容体は統合失調症、注意欠陥多動性障害 (ADHD) やパーキンソン病などの様々な精神疾患に対する治療薬の標的になっています。しかし、ドパミン D2 受容体と精神・運動との関わりは不明でした。

本研究では、ドパミン D2 受容体の新しい細胞内活性化メカニズムを見出し、そのメカニズムが抗精神病薬による精神安定作用と運動機能制御に関与することを証明しました。

ドパミン D2 受容体には D2L 受容体と D2S 受容体の 2 種類の構造の異なる受容体が存在します。本研究では、D2L 受容体が細胞膜表面だけでなく、細胞内小器官 (初期エンドソームとゴルジ装置) にも局在し、細胞内 D2L 受容体の活性化により抗精神病薬による精神安定作用と運動機能制御作用を増大することを明らかにしました。

本成果は 2016 年 12 月 6 日 (日本時間 7 日) に Molecular Psychiatry 誌 (電子版) に掲載されました。本研究は、文部科学省科学研究費助成事業及び日本医療研究開発機構 AMED の支援を受けて行われました。

本成果につきまして、下記のとおり記者説明会を行いますのでお知らせいたします。ご出席いただける場合は、末尾 FAX 用紙を 12 月 12 日 (月) まで下記問い合わせ先までお送りください。

記

- 日時：平成 28 年 12 月 13 日 (火) 14 : 00～
(記者受付開始時刻 13 : 30～)
- 会場：東北大学片平北門会館 2F エスパス (別紙地図参照)

会場周辺図



問い合わせ先

(研究について)

東北大学大学院薬学研究科

担当 福永浩司

電話 022-795-6836 E-mail kfukunaga@m.tohoku.ac.jp

(報道、記者説明会について)

東北大学大学院薬学研究科総務係

電話 022-795-6801 E-mail ph-som@grp.tohoku.ac.jp

FAX 022-795-6805

東北大学大学院薬学研究科総務係行

F A X 番号 : 022-795-6805

記者説明会出席確認票

御出席に際しては御連絡先等を記入いただき、FAXにて、

12月12日(月)までに御返信ください。

開催日 : 平成28年12月13日(火) 14:00~

会 場 : 東北大学片平北門会館 2F エスペース

御社名 : _____

御所属 : _____

御芳名 : _____

媒体名 : _____

御連絡先 : _____

電話 : _____ FAX : _____

Email : _____